

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 PM-IS-024  
会社名 グラフテック株式会社  
住所 〒244-8503 神奈川県横浜市戸塚区品濃町 503-10  
担当部署 品質保証部  
電話番号 045-825-6223  
FAX番号 045-825-6394  
緊急連絡先 担当部署と同じ

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 : 自然発火性固体 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

#### 注意書き

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。

### 3. 組織、成分情報

化学名又は一般名	化学式	CAS. No.	官報公示整理番号		濃度又は濃度範囲
			化審法	安衛法	
変性炭化水素ワックス	特定できない	非公開	非公開	非公開	10~15%
合成ワックス	特定できない	非公開	非公開	非公開	10~15%
アクリル樹脂	特定できない	非公開	非公開	非公開	5~10%
ピグメントグリーン 7	特定できない	非公開	非公開	非公開	5~10%
ポリエチレンテレフタレート	(C8H6O4. C2H6O2) <sub>x</sub>	25038-59-9	(7)-1022	既存	70~80%

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）

銅及びその化合物（政令番号 :379）  
（10%未満）

#### 4. 応急措置

---

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

#### 5. 火災時の措置

---

- 消火剤 : 粉末消火剤、散水、水噴霧、一般の泡消火剤。
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。  
吸入すると有害となるおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から製品を移動する。  
避難して安全な距離から消火すること。熱に晒されると、破裂して重度毒性蒸気又は分解生成物を放出することがある。
- 消火を行う者の保護 : 空気式呼吸器 (SCBA) を着用する。  
防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

#### 6. 漏出時の措置

---

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）  
を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止  
する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。  
環境中に放出してはならない。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

---

- 取扱い
- 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 飲み込みを避けること。  
皮膚との接触を避けること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管
- 安全な保管条件 : 保管場所には製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の  
設備を設ける。  
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。  
酸化剤から離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 特になし

## 8. ばく露防止措置

	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産衛学会（2015年版）	ACGIH（2015年版）
変性炭化水素ワックス	未設定	未設定	未設定
合成ワックス	未設定	未設定	未設定
アクリル樹脂	未設定	未設定	未設定
ピグメントグリーン 7	未設定	未設定	未設定
ポリエチレンテレフタレート	未設定	未設定	未設定

設備対策 : 本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

### 保護具

呼吸器の保護具 : 換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。  
 手の保護具 : 適切な手袋を着用すること。  
 眼の保護具 : 適切な保護眼鏡を着用すること。  
 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観 物理的状态 : 固体  
 形状 : リボン状  
 色 : 緑  
 臭い : 無臭  
 臭いのしきい（閾）値 : データなし  
 pH : データなし  
 融点・凝固点 : データなし  
 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし  
 引火点 : 非該当  
 蒸発速度（酢酸ブチル=1） : データなし  
 燃焼性（固体、気体） : データなし  
 燃焼又は爆発範囲 : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 蒸気密度（空気=1） : データなし  
 比重（密度） : データなし  
 溶解度 : データなし  
 n-オクタノール／水分配係数 : データなし  
 自然発火温度 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 粘度（粘性率） : データなし

## 10. 安全性・反応性

反応性 : 知見なし  
 化学的安定性 : 通常の条件においては安定である。  
 危険有害反応可能性 : 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。  
 避けるべき条件 : 熱、火花、裸火等の着火源  
 混触危険物質 : 知見なし  
 危険有害な分解生成物 : 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

## 1.1. 有害性情報

---

急性毒性	経口	: データ不足のため分類できない。
	経皮	: データ不足のため分類できない。
	吸入 (蒸気)	: データがなく分類できない。
	吸入 (粉じん)	: データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		: データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性		: データがなく分類できない。
皮膚感受性		: データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		: データがなく分類できない。
発がん性		: データがなく分類できない。
生殖毒性		: データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		: データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		: データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性		: データがなく分類できない。

## 1.2. 環境影響情報

---

水生環境有害性 (急性)	: データがなく分類できない。
水生環境有害性 (長期間)	: データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

## 1.3. 廃棄上の注意

---

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が、その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
汚染容器及び包装	: 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 1.4. 輸送上の注意

---

国際規則	Regulatory Information by Sea	: Not dangerous goods
	Regulatory Information by Air	: Not dangerous goods
国内規制	陸上規制	: 非該当
	海上規制情報	: 非危険物
	航空規制情報	: 非危険物
特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。	
緊急時応急措置指針番号	なし	

## 15. 適用法令

---

労働安全衛生法	: 該当 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）（銅及びその化合物） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）（銅及びその化合物）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
その他の該当法規	: 特になし

## 16. その他の情報

---

参考文献        RTECS  
                  ECHA Registered substances Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。